

3章

まちづくりの目標と方針

歩行環境・動線

01

ウォーカブルネットワーク

歩いて巡りたくなるようにナカメ内外の魅力をつなぐ

散歩などまち歩きを楽しめるナカメの魅力をさらに引き出し、エリア内のまちなか拠点や隣接する池尻大橋や代官山、祐天寺等の駅周辺スポットを歩いて巡りたくなるようにするために、「ウォーカブルネットワーク」の構築を目指します。

方針 1. 歩行者ファーストのゆとりのある環境の創出

人々がゆったりとまち歩きを楽しめるように、歩行空間の充実、回遊路の連続性の確保により、ゆとりのある歩行環境を創出します。

- 取組
- ① イベント等使用形態に合わせた道路の歩行者優先道路化
 - ② 建物の共同化に伴う道路の歩行者優先道路化や民地空間と一体的な空間整備
 - ③ 路外駐車場出入口の設置制限や集約駐車場の設置
 - ④ 歩道橋周辺の安全確保等の検討等歩行空間のバリアフリー化

方針 2. 歩行空間の魅力向上

人々が交流や散歩を楽しめる歩行空間になるように、商店街の店舗等の連続性確保、滞留空間の確保や外観の透過・デザイン、緑道やみどりの散歩道の充実により、魅力を向上します。

- 取組
- ① 商店街におけるまちづくりルールによる低層部の店舗等の誘導
 - ② 沿道店舗のセットバックによるオープンスペースの確保と活用促進
 - ③ 自然や人の魅力を感じられる1階部分をガラス張り化した建物の誘導
 - ④ 既存建物の外観を活かしたリノベーション
 - ⑤ みどりの散歩道や緑道などベンチ等の整備・舗装や照明などの改修
 - ⑥ ベンチの設置・改修
 - ⑦ 接道部等の緑化の促進

方針 3. 憩い・くつろげる環境の確保

人々が気ままに立ち止まったり、休憩したりするなど、誰もが身体の負担やストレスを感じることなくまち歩きを楽しむことができるように、座れる場の設置や緑化促進により、憩い・くつろげる環境を確保します。

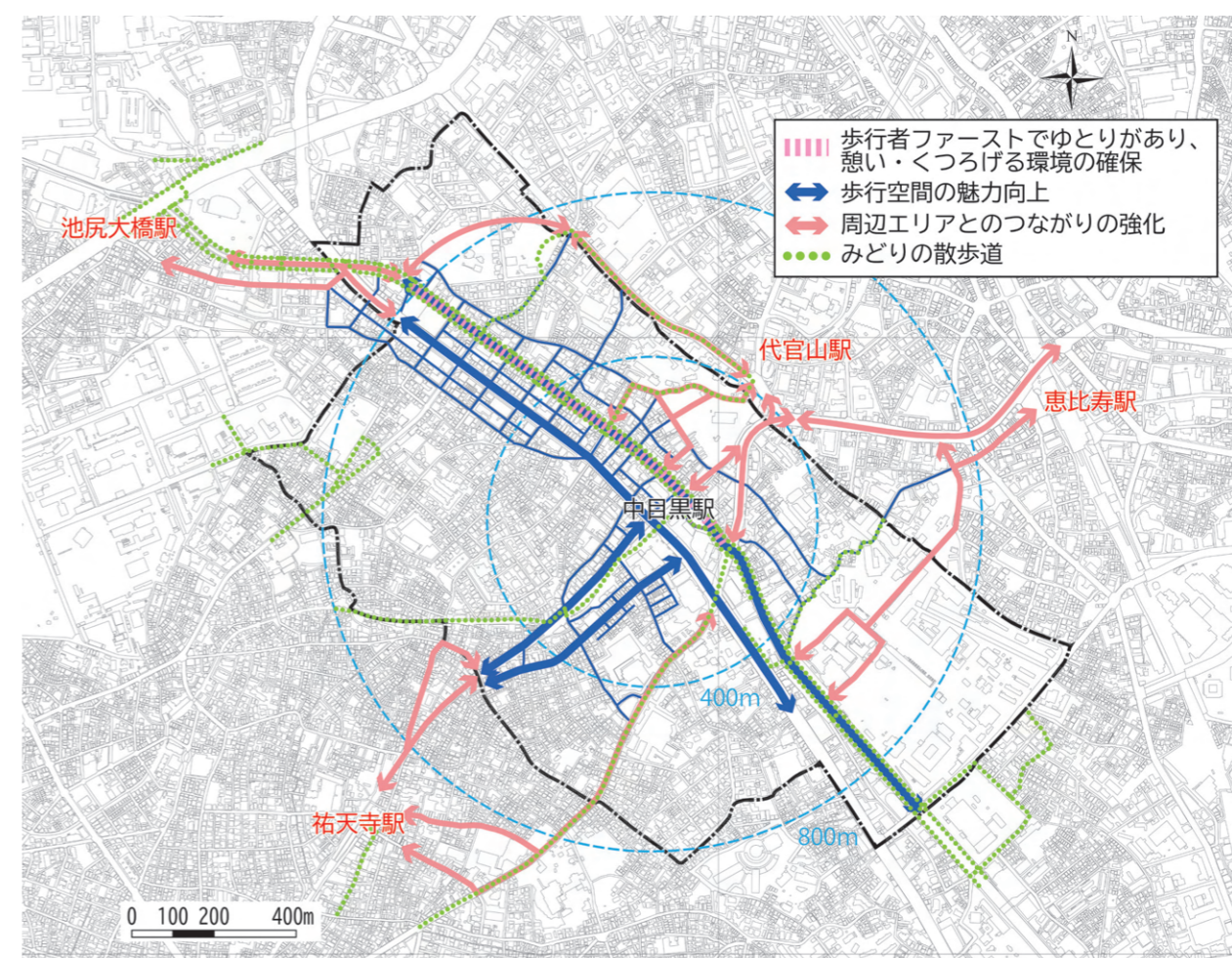
- 取組
- ① みどりの散歩道や緑道等のベンチ・パーゴラの設置や改修
 - ② オープンテラスの設置
 - ③ 質の良いトイレの設置・改修
 - ④ 地域のボランティア等による緑化



方針 4. 周辺エリアとのつながりの強化

ナカメと隣接する池尻大橋や、代官山、祐天寺等との回遊を促進できるように、誘導するための環境整備や情報発信、活動の連携、移動手段の確保により、周辺エリアとのつながりを強化します。

- 取組
- ① 歩行者向けサインや案内板等の整備、改修や拡充
 - ② ライトアップや壁面ペイント等による誘導
 - ③ イベント等の協同開催
 - ④ シェアモビリティの活用
 - ⑤ GSUC 構想のフラッグシップ拠点への回遊路整備の推進



02

場・空間

まちなか拠点

ひとやまちの魅力に出会える拠点をつくる

ひとや自然、文化などのナカメにある様々な魅力に出会えることで、住む人・働く人・訪れる人の日常を豊かにし、「住みたい」、「住み続けたい」、「働きたい」、「訪れたい」と思えるナカメにするために、エリア内の空間を活用して、人々の滞留や回遊、憩い、交流を生み出す「まちなか拠点」づくりを目指します。

方針 1. 駅周辺での滞留・回遊を生み出す場の創出

エリアの顔である中目黒駅の周辺において、人々が滞留し、エリア内の情報を知ることができ、回遊につながるように、建物の更新等を契機とした場の創出を行います。

- 取組
- ①民有地と公共空間の一体的な舗装等による新たな広場空間の創出
 - ②道路空間のオープンスペース化
 - ③交通結節点としての駅とまちとの連携強化による回遊性の向上

方針 2. 魅力あふれる水辺の整備と利活用

めぐろを代表する目黒川に隣接する広場等が、水辺を身近に感じさせる魅力あふれる場となるように、整備と利活用を図ります。

- 取組
- ①河川広場・空間におけるテーブル・ベンチ・キッチンカー等の設置、芝生等による緑化
 - ②河川広場のイベント等での利活用
 - ③質の良いトイレの設置・改修
 - ④河川看板の整備、改修

方針 3. 民間のオープンスペース等の憩いや交流の場としての利活用

ナカメには民間施設や大学等のオープンスペースが存在することから、それらを日常的に住む人・働く人・訪れる人が憩い・交流できる場になるように、積極的に活用します。

- 取組
- ①オープンスペースへのテーブル・ベンチの設置
 - ②施設のイベント等でのオープンスペースの活用の促進



方針 4. 公園の新たな憩い・交流・回遊を生み出す場としての充実

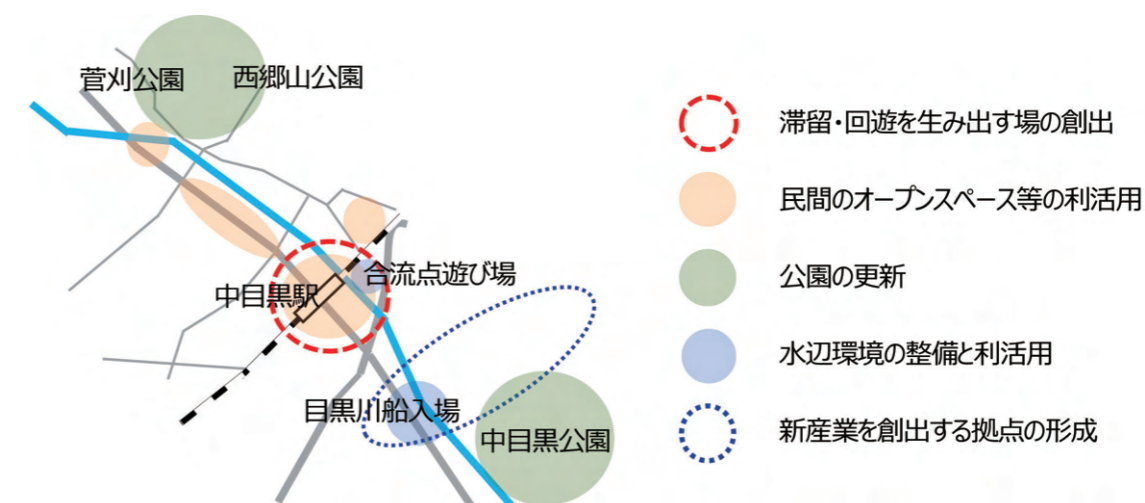
エリアに立地する規模の大きな公園を、新たな憩い・賑わいの創出の場や周辺エリアとの回遊の起点・経由地点として、施設・設備の更新を行います。

- 取組
- ①民間活力を活用した施設・設備の改修
 - ②新たな便利施設（カフェ等）・キッチンカー等の設置
 - ③トイレの質の向上、ベンチの設置や改修
 - ④公園等の看板の整備・改修
 - ⑤みどりの散歩道ガイドブック等の更新、販売、周知

方針 5. 個性的な新産業を創出する拠点の形成

ナカメに集まるクリエイティブ企業の集積をはじめ、GSUC 構想に基づくフラッグシップ拠点、フナイリバナテモノのスタートアップ拠点、知的財産高等裁判所の立地等を契機として、個性的な新産業を創出する拠点を形成します。

- 取組
- ①新たなビジネスを創出する交流・創造の場の確保
 - ②オープンイノベーション拠点の形成



03

環境、安全・安心

やすらぎのあるまち

ひとにやさしく安心できるまちをつくる

ナカメは、都市としての活力と落ち着きの共存がまちの魅力となっており、子ども、若者、高齢者、障がい者、外国人など多様な人々が住み、働き、訪れています。そうした多様な人々が関わるまちのバランスを保ち、魅力を維持・向上するため、ひとにやさしく、安心でき、多様性を認め合いながら、落ち着きある環境で憩うことができる「やすらぎのあるまち」を目指します。

方針 1. まちなかの身近なみどりの保全と充実

目黒川沿いの桜をはじめ、ナカメのまちなかにある身近なみどりについて、地域の関係者と連携しながら、環境保全や植栽の充実により、その魅力を維持・向上します。

取組

- ①地域の関係者が一体となった清掃活動の実施
- ②サクラ再生実行計画をもとに、地域のデザイナー等との協働も見据えた目黒川沿道の低木をはじめとした樹木の植え替え
- ③グリーンクラブや地元小中高等学校等ボランティアの育成・立上げや連携による植栽の充実
- ④みどりの散歩道や緑道などの緑化や植栽の更新

方針 2. 桜開花時期等におけるサステナブルツーリズムの実現

桜の開花時期等に、地域一体となった警備やゴミの発生抑制・回収を通じた課題の解決により、様々な人が心地よくナカメのまちを楽しめる環境づくり「サステナブルツーリズム」を実現します。

取組

- ①地域の関係者が一体となったまちなかの巡回・巡視等の強化
- ②情報発信や案内等による駒沢通り以南方向への回遊の誘導
- ③制度化も見据えたリユースカップ活用によるプラゴミ削減の推進
- ④店舗等との連携によるゴミの回収
- ⑤質の良いトイレの設置・改修

方針 3. 落ち着きのある景観や環境の保全

住環境と商業・業務環境が共存するナカメの特徴を踏まえた、ルールづくりやマナー啓発活動、無電柱化等により、落ち着きのある景観や環境を守ります。

取組

- ①景観形成のルールづくり
- ②置き看板の解消（ルールの徹底、デジタルサイネージの活用等）
- ③自転車等走行環境の整備の推進、駐輪・走行マナーの周知、放置自転車の撤去
- ④ゴミのポイ捨て抑制や飲食・喫煙マナーの周知
- ⑤周辺権利者と連携した無電柱化の推進
- ⑥地域の関係者が一体となった清掃活動の実施



方針 4. 災害時の対策・受入態勢の強化

空間確保やデジタル技術等も活用した情報提供・誘導により、高齢者や障がい者、外国人など様々な人に配慮した災害時の対策・受入態勢を強化します。

取組

- ①駅前における帰宅困難者の滞留空間の確保
- ②デジタルサイネージやフリー Wi-Fi などの災害時の情報発信
- ③駅周辺の事業者や関係団体等と連携した帰宅困難者対策の推進
- ④店舗・事業所での防災備蓄の誘導
- ⑤誘導案内や備えのための訓練実施

方針 5. ナカメで暮らす人々に優しく安心して暮らせる環境の充実

子どもがのびのびと活動・体験できる場の確保や、高齢者等が楽しく生活できるサービスや機会の提供などにより、ナカメに暮らす人々に優しく、安心して暮らせる環境の充実を図ります。

取組

- ①まちなか拠点の活用を通じた安心して活動・体験できる場や機会の創出
- ②生活支援サービス（買い物支援等）の実施
- ③歩道橋周辺の安全確保等歩行空間のバリアフリー化の検討

方針 6. 多様な人々が安心して楽しく過ごせる環境の充実

ナカメでは、今後より一層、外国人をはじめ多様な人々が訪れ過ごす場になると考えられることから、目的地までの情報の提供、移動しやすい環境整備など、インバウンドも意識した安心して楽しく過ごせる環境を充実します。

取組

- ①外国人等のための案内・相談場所の設置、国際交流の機会創出
- ②道路等のバリアフリー化やユニバーサルデザインによる誘導・案内施設の設置
- ③公園・広場・施設等での子育て支援機能の確保

04

産業、文化、コミュニティ

クリエイティブなまち

多様な活動とつながりから活力が生まれるまちをつくる

日々の暮らしに寄り添う店舗、先進的な文化を発信する店舗や施設が共存し、多様な人々が交流する機会のあるナカメの特徴を魅力として維持・向上するため、「これまで」を継承し、「これから」を創出することで、多様な活動とつながりから活力が生まれる「クリエイティブなまち」を目指します。

方針 1. 店舗・施設を集積・定着の誘導

住む人・働く人・訪れる人にとって魅力となる商業・業務機能を維持・向上できるように、建物や公共施設等の更新、既存建物の有効活用により、店舗・施設を集積・定着を誘導します。

取組

- ①市街地再開発事業や公共空間の更新とあわせた個性ある店舗・施設の立地誘導
- ②既存建物の特徴を活かした店舗・施設へのリノベーション

方針 2. ナカメの資源を活かした商品・サービス開発の促進

ナカメに関わる事業者・クリエイター・デザイナーなどの主体が個性を発揮して、ナカメ独自の価値を創造できるように、各主体間の連携や地域資源を活用した商品・サービス開発を促進します。

取組

- ①ナカメに関わる事業者等の連携による商品・サービス開発
- ②地域団体やボランティア間の連携による商品開発

方針 3. まちなかでの文化・芸術の発信

東京音楽大学が立地するとともに、クリエイター・デザイナーが多いナカメの魅力を活かすために、まちなかの空間等を活用した活動を行うことで、日常的にナカメの文化・芸術を発信します。

取組

- ①広場やオープンスペースでの音楽演奏、イベント
- ②アーティスト・クリエイター・デザイナーのまちなかでの活動（創作活動、作品展示、公園等でのインスタレーションなど）
- ③東京音楽大学との連携・協力による音楽文化、音楽教育、生涯学習、地域コミュニティ、防災対策等の取組の実施



方針 4. 文化や芸術を学び・体験できる場の創出

ナカメの文化や芸術に関する多彩な感性を育むために、まちなかの施設や広場等を活用して、文化や芸術を学んだり体験したりできる場を創出します。

取組

- ①まちなかの施設等を活用した音楽等文化・芸術教室の開催
- ②まちなか拠点の活用を通じた安心して活動・体験できる場や機会の創出
- ③地元企業やクリエイターによる業務紹介やワークショップの開催

方針 5. 世代を超えて多様な人々が出会い・つながる場や機会の創出

住む人、働く人、訪れる人、若者、子育て世代、高齢者、障がい者、外国人など、多様な人々が交流したり、まちづくり活動に参加したりできるように、人々が出会い・つながる場や機会を創出します。

取組

- ①町会・住区住民会議・商店会等と連携した活動の実施
- ②盆踊りなど多世代が交流できる歴史・文化の保全・充実
- ③店舗等と連携したタウンミーティングの開催
- ④音楽等の文化や地域資源を活かしたコミュニティベースドツーリズムの実施

方針 6. 個性的な新産業や多様な働き方・チャレンジできる環境の創出

ナカメに集まるクリエイティブ企業の集積をはじめ、スタートアップ拠点、裁判所の立地等を契機として、ナカメの魅力を高める個性的な新産業や自由に働きチャレンジできる環境を創出します。

取組

- ①先進技術やデザインを展開する企業の誘致、起業の支援
- ②既存施設利活用を通じたコワーキングスペース・シェアオフィスの整備・拡充
- ③新たなビジネスを創出する交流・創造機能の拡充、大学との共同研究の実施

05

情報、デジタル

情報や技術が活躍するまち

暮らしを豊かにする情報発信やデジタル技術活用を展開する

住む人・働く人・訪れる人が、まちの魅力や必要な情報を知ることができるとともに、様々な人と活動したり、ナカメで過ごすうえで便利になるサービスを利用できるようにするため、「情報発信やデジタル技術が活躍するまち」を目指します。

方針 1. 駅前エリアでの情報発信機能の強化

ナカメの玄関口となる駅前エリアで、ナカメの回遊や活動の促進につながる情報を提供できるように、建物の更新や店舗・施設等との連携を通じて、情報発信機能を強化します。

- 取組
- ①市街地再開発事業等を通じた情報発信システム（デジタルサイネージ等）の導入
 - ②駅前の店舗・施設と連携した情報発信拠点の設置・拡充

方針 2. まちの魅力を発信してつながりを生むメディアづくり

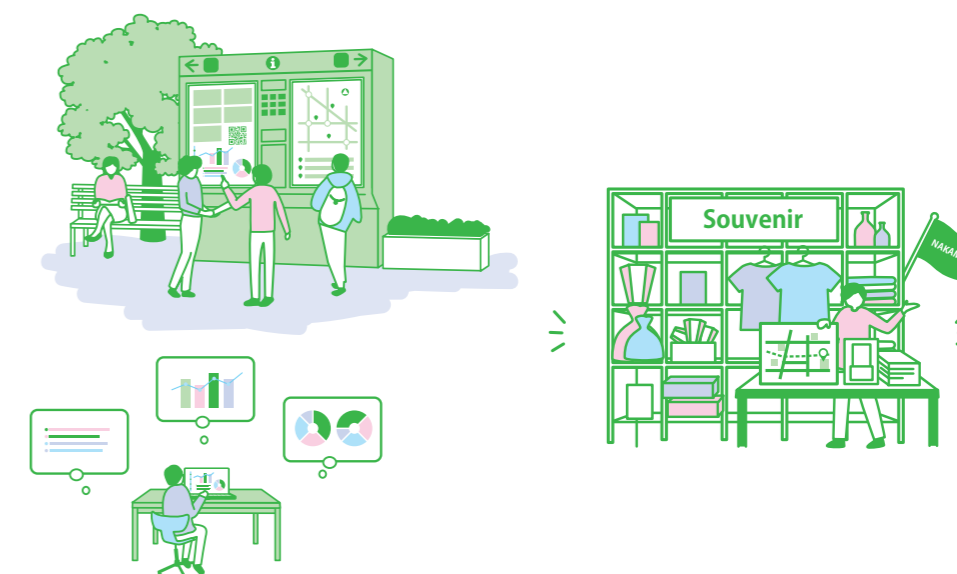
住む人・働く人・訪れる人など様々な人が、ナカメの魅力を発見・再発見して、まちへの愛着や様々なつながりをもつことができるように、ナカメ独自のメディア（情報媒体）づくりを実施します。

- 取組
- ①ローカルメディアの制作・公開
 - ②既存メディアとの連携・連動
 - ③まちづくり活動の情報発信

方針 3. まちづくり活動にデジタル技術の活用

ナカメのまちづくり活動に興味・関心のある様々な人が、それぞれの望む関わり方でまちづくり活動に参加できるように、SNS やオンラインツールなどのデジタル技術を活用します。

- 取組
- ① SNS 等を活用した情報発信
 - ② オンラインツールを活用した意見交換・活動参加の機会創出
 - ③ ビッグデータを活用した商業振興施策等の推進



方針 4. まちなかでデジタル技術を実装できる環境づくり

まちの状況の可視化や活動の効果検証、移動等のサービスの利便性向上や効率化など、まちの魅力向上や課題解決につながるデジタル技術の実装に向けて、環境を整備します。

- 取組
- ① 人流把握や防犯等のための AI カメラやセンサー等の設置
 - ② VR 等の活用によるまちづくりの検討
 - ③ まちづくり活動の効果を検証するための収集データの分析
 - ④ 地域のニーズに応じた次世代モビリティの導入
 - ⑤ AI を活用した音声ガイド案内板の設置

